

会 報

◀第362号▶

次代を築くヒューマンネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会



発行日:平成27年12月1日

目次	◎ 年末のご挨拶	副会長（神鋼不動産 専任顧問） 川端 宏幸・・・	1 頁
	◎ 見学研修レポート	大阪ガス・ハグミュージアム～第67回正倉院展・奈良公園ほか・・・	2～4 頁
	◎ お知らせ	・・・	5 頁
	◎ 広報コーナー	神戸三宮東急REIホテル	・・・ 6 頁

年 末 の ご 挨拶

副会長 川端 宏幸

((株)神鋼不動産 専任顧問)

早いもので、今年もあと1か月を切ることとなりました。皆様も年末を迎えて何かと気忙しいことと存じます。

今年は、よく言われているように「戦後70年」、「阪神・淡路大震災から20年」を迎えた節目の年で、様々なイベントや議論が繰り広げられてきました。その一つが『安全・安心の確保』で、我々と深く関わる建築分野では、「建築物の耐震化」が話題となりました。

県の推計では、そのうち住宅については、2015年度耐震化率97%の目標に対し、13年時点で85.4%、病院や百貨店などの多数利用建築物については、15年度目標の92%に対し、86.6%と低位に止まっています。その要因としては、震災の意識の希薄化や資金上の問題が考えられますが、兵庫県及び県下市町では全国でトップレベルの補助制度を用意しています。また、シェルター型や屋根の軽量化など部分的な改修工事、さらに防災ベッドの設置にも補助したり、建替える場合には100万円の補助を行っています。是非、リフォームや建替えのご相談があれば、これらの制度を活用して、耐震化を進めていきたいものです。

個人的には、この3月末に40年に及ぶ行政、行政団体に別れを告げ、民間に籍を置かせていただくことになりました。両方に籍を置いて、その違いを見てみると、様々な職種や立場により異なるでしょうが、大雑把に言うと、行政の場合は、様々な部署と協議調整する「ネットワーク型」、民間の場合は、自力で突き進んでいく「自立型」と言えるのではないかと思います。

兵庫県建築会も再来年、設立70年を迎えます。官民協力というその沿革を踏まえ、行動力がありバランスのとれた組織となるよう皆さまとともに取組を進めていきます。

ここで、来年の会報で連載を予定している会員レポートの前振れをさせていただきます。

もう、10年近く前になりますが、兵庫県の景観形成室に在籍中に、景観を活かしたまちづくりの先進地である欧州へ調査研修に赴きました。

わが国でも、本年7月に三池炭鉱や八幡製鉄所等の8エリア、23施設が世界遺産に登録されたが、先に2001年に登録された世界遺産に「関税同盟第12立坑」があります。

小学生のころ、西ドイツのルール工業地帯というのを学んだ記憶があると思います。このライン川の支流エムシャー川流域は、東西約80km、南北約10km、兵庫県でいうと、尼崎から姫路にまたがる広さで、石炭鉱業、鉄鋼業、化学工業等が密集した鉱工業地帯を形成していました。しかし、1970年代を境とした産業構造の転換により重化学工業は衰退し、人口の減少や自然環境の崩壊が見られました。

その中核の一つである第12立坑は、1930年に開設された世界最大かつ最新の採炭施設で、バウハウス様式の建築と一体となって設計された構造は、産業建築の代表例といえます。そして1986年に閉鎖された後は、炭鉱の全施設が保全、改修、再利用されています。

そのほか、オランダ・アムステルダム集合住宅やフランス・リールの市街地改造などのレポートをお届けの予定です。来年も引き続きよろしくお祈りします。



ドイツ：第12立坑前にて
(筆者)

見学研修会レポート

とき：平成27年11月5日（木）
行先：大阪ガス ハグミュージアム
奈良国立博物館 正倉院展
奈良公園・春日大社

本年の見学研修は、2年越しとなりました大阪ガスが2015年1月に発祥の地にオープンした食と住まいの情報発信基地“hu+gMUSEUM”と第67回正倉院展、奈良公園等の視察を行いました。その概要を報告します。

大阪ガスハグミュージアム (案内パンフより)



1 大阪ガス hu+gMUSEUM (ハグミュージアム)
案内のパンフに、ハグミュージアムのコンセプトが次のように記されています。

『人とガスが出会うと、ぬくもりが生まれる。未来が生まれる。』

human+gas=hu+g

ガスがあるから実現できる、ちょっと先の豊かなくらしを、

見て、触れて、味わって、ご体感ください。

そのとおりに、建物の1階から5階、屋上まで、ガスの生産から新しい生活、住まいの提案、そして食の実体験できる総合展示場となっており、その概要は次のとおりです。

1階 大阪ガスの安心！発見！を体感できるフロアー

エネルギーギャラリーでガスの採掘から精製、供給、未来のエネルギーシステムを紹介する。

2階 エントランスフロアー

イベントスペースを中心とした交流スペース。ハグビジョンという、2重構造のキューブ型映像装置は日本初のもので、自分をデフォルメした映像で楽しめる。喫茶コーナーもあり、ゆっくり寛げます。



エントランスフロアー
「ハグビジョン」

3階 住まいとくらしの体験フロアー

優秀作品に選出された設計士による新しい暮らしの空間、リフォームによるビフォーアフターの比較体験や快適生活を体感するフロアーで、ロボット掃除機対応のダイニングなどもおもしろい。

4階 食の体験フロアー

最新のシステムキッチン等を展示するキッチンギャラリー、100人が同時に調理実演できるキッチンスタジオを配置。最新のSiセンサーコンロ、アナログ世代には恐る々でした。



お掃除ロボット
テーブル

5階 業務用厨房の情報発信フロアー

業務用厨房の各メーカーの最新トップラナー機器を展示、試用。

屋上 地域に開放した農業実習用エリアほか

なお、大阪ガスの平井保夫氏より、「施主様との打合せの場所として、是非ご活用ください。」とお願いがありました。また、見学研修にあたって、直接にご案内をいただきありがとうございました。

2 第67回正倉院展

正倉院の宝物は、東大寺建立の聖武天皇が崩御され、光明皇后が遺愛の品々を大仏に収めたのが始まりで、東大寺の倉庫であった正倉院に保管され、明治以降は国の管理に委ねられました。その他東大寺の仏具や貴族の奉納品も加わり、現在、9000件の宝物が伝わっているとのこと。

1200年以上に亘り宝物が守られてきたのは、誰もがご存知の「校倉造り」の高床式の効能や、湿度の変化が少ない杉の櫃に納められていることによります。そして、毎年秋の宝物の点検、虫干しが行なわれる間に一般公開されるのが「正倉院展」です。戦前にも公開は行われていましたが、「正倉院御物特別拝観」として昭和21年に第1回が開催されました。戦後間もなくの混乱期からとなりますが、日本人の精神文化の高さを物語っているものと思われます。見学の日も45分待ちの案内でしたが、団体予約のお蔭でスムーズな入場でした。



入場券「紫檀木画槽琵琶」

今回は“蘇る天平の調べ”の「紫檀木画槽琵琶(したんもくがそうびわ)」、「彫石横笛(ちょうせきよこぶえ)」、「彫石尺八(ちょうせきしゃくはち)」等の楽器、“千年色鮮やか”のフェルトの敷物「花氈(かせん)」、三彩

の小塔「磁塔残欠(じとうざんけつ)」、そして東大寺の法会で使用された「伎楽の面」等々天平文化を豊かに彩った至宝が展示されており、全てをつぶさには至難の業で、少なくともということですからこれらについてはしっかりと見学し、天平人の高い技術を目の当たりにできました。

ところで、琵琶の文様を見て思い当たるのは…そう、有名ブランドのバッグですが、諸説ある中の一つに江戸末期のパリ万博に出品された日本の美術工芸品に影響を受け、家紋をイメージしてデザインしたと言われてい



3 東大寺 ○ 大仏殿

728年に聖武天皇が建立した金鐘寺(現在地の東方、若草山麓)が東大寺の始まりで、後、大和国分寺として金光明寺と称し、745年に大仏造営が開始された際、東大寺となりました。現在の伽藍は1709年再建のものです。

高さ46.8m、間口57m、奥行50.5mで創建時に比し東西幅は3分の2に縮小。建築様式は“大仏様(だいぶつよう)”が基本。

華嚴宗大本山で本尊は盧舎那仏。

○ 国宝 鐘楼・梵鐘

東大寺大仏殿から二月堂への途中にあり、以下は案内板からの紹介です。

「鐘楼」は鎌倉時代の再建に係るもの、「梵鐘」は奈良時代の東大寺創建当初のもの



重さは26.3tもあり、鐘声の振幅は非常に長く、日本三名鐘のひとつといわれています。

そのスケールに圧倒されました。

○ 二月堂(国宝)

旧暦二月にお水取り(修二会)が行われることからこの名があります。

本尊は大観音、小観音と呼ばれる2体の十一面観音像です。建物が前にせり出すように建てられているのが特徴で、懸造(かけづくり)と呼ばれ、清水寺も同じです。



TV映像では夜の太松明が印象的



二月堂からの景観と参道

が、お昼の顔もお勧めで、参道は南北ともそれぞれに趣があり、奈良盆地を一望する舞台からの景色は絶景でした。

4 春日大社(国宝)

本殿は、春日造という様式で、各地の春日神社の本殿始め数多くの神社の社殿に用いられています。春日造は、屋根が檜皮葺で切妻造り、井桁に組んだ土台の上に建てられているのが特徴です。

御祭神は武甕槌命(タケミカヅチノミコト)、経津主命(フツヌシノミコト) 天兒屋根命(アメノコヤネノミコト)、比売神(ヒメカミ)の四柱で総称して春日皇大神とい



○ 式年造替(しきねんぞうたい)

平成27年、28年で第60次式年造替中。伊勢神宮の“遷宮”とは異なり、春日大社では本殿の位置を変えず、建替え、修復を行うことから、これを造替といいます。神様は一時「移殿(うつしどの)へお遷りになります。ただし、幕末の第53次造替を最後に、国宝指定されたことから、それ以降は屋根、塗装替え及び部分修理により造替に代え今日に至っているようです。

また、屋根に葺かれる檜皮は「友皮蛇腹(ともかわじゃばら)」という木目がきれいで穴や節のないものを使い、採取できる檜皮の1割にも満たない貴重な部材とのことです。来春には改修を終えます。



春日大社本殿案内板 四柱の図

○ 萬燈籠再現・藤浪之屋(重要文化財)

春日大社に奉納された燈籠は約3000基にのぼり、節分、8月14日、15日の年3回全ての燈

籠に浄火を灯す春日萬燈籠が行われます。

この萬燈籠神事を再現しているのが「藤浪之屋」の燈籠で、真っ暗闇の中に燈籠が灯り、幽玄の美を醸し出していました。



回廊の燈籠と藤浪の屋に灯る燈籠

5 鹿にまつわるお話

○鹿のお辞儀

奈良公園のシカはお辞儀をすることで知られています。世界でも奈良のシカだけの習性と言われ、やはり写真と同様に「餌ねだりの行動」と言われています。この行動は、仔ジカの頃に親ジカのしぐさを見て学習して伝わっていくようです。

そもそもは平安の時代に遡り、藤原貴族の春日詣時に神鹿に丁寧なお辞儀をしてその後には物を与えたことからシカの習性に結びついたようです。



「鹿のおじぎ」の実演

○早起きは三文の徳

一般的には、「朝早く起きることは、健康によく、またいくらかの利益がある」との電灯がなかった時代に、早く起きて仕事をすることで規則正しい生活のリズムとなり、健康にもいいということの戒めといえます。しかし、ここ奈良では、家の前で鹿が死んでいると、罰金として三文の支払いを求められるため、早く起きて家の前を掃除して罰金を免れたことからくる説があります。やはり神鹿の所以でしょうか。



落語の「鹿政談」は豆腐屋を営む老人・与兵衛が、商品のキラズ(卯の花)の桶に首を突っ込み食べている「赤犬」を見て、薪を投げて殺してしまい、これが犬でなく鹿であったことから、この鹿殺害を巡ってのいわゆる“大岡裁き”の話です。鹿殺しは死罪のところ、与兵衛を無罪放免にしての“落ち”は、「与兵衛、

斬らず(キラズ)にやるぞ」「マメ(達者)で帰れます」、とめでたし、めでたしで終わります。三代目林家染丸でよく聞きましたが、奈良では、それほど鹿を大切にしないといけないというお話です。

6 恒例俳句会

- 一 席 山野辺の 紅葉鮮やか 二月堂
事務局 谷 純夫氏
- 二 席 空晴れて 鹿とたわむる 古都の秋
大木工務店 林 峯三氏
- 三 席 天平の 手工芸に酔いし 古都紅葉
明和工務店 中島 俊一氏
- 四 席 錦秋の 山懐に 春日宮
明和工務店 中島 俊一氏
- 五 席 奈良の秋 いにしえ人の 技を知る
前川建設 大西 一三氏

今回は全員投票による順位付けの時間がなく、師範による選となりました。もちろん無記名で提出されました。以下、師範講評です。

一席は、若草山を背景にした紅葉鮮やかなサマは、二月堂を引き立て奈良らしい句となっています。

二席は、鹿は奈良の象徴で、さりげない句のようですが、当日の奈良の様子が見えていい句になっています。

三席と四席の中嶋さんは、昨年は一席でしたし、やはり実力者です。正倉院展の感じも出ていい句です。

五席は、正倉院展の出品の素晴らしさが出ていい句になっています。

そして、見学会の意義を詠んだ川端さんに特別賞 “秋の奈良 絆深かめる 建築会”

師範からは、参考句として

“青い空 紅葉に映ゆる 二月堂”

をいただきました。

会長には、本年も入賞者へ賞品を贈呈いただき誠にありがとうございました。

さて、来年の句会はいかがになりますでしょうか。



「大阪ガス発祥の地」碑前にて

お知らせ

◎ 行事ご案内

① 役員会・事業推進委員会

日 時：平成27年12月10日（木）
15:00～17:00

会 場：① 兵庫県民会館 7階 らん
② 紅宝石（17:30～）

議 題：平成28年度事業計画及び70周年
記念事業について

② 新春会員交流会（兼第444回月例会）

日 時：平成28年1月14日（木）
17:30～19:30

会 場：神戸三宮東急REIホテル
ご案内中です。ご出席をよろしくお願ひします。

③ 第445回月例会

テーマ：夢と浪漫をいだいて
～サンティアゴへの道～

講 師：石田邦夫副会長
日 時：平成28年2月18日（木）
12:00～14:00

会 場：西村屋和味旬彩

④ 第446回月例会

テーマ：異文化コミュニケーション
講 師：黒田高之氏
(株) リンク グローバルソリューション
シニアコンサルタント

日 時：平成28年3月10日（木）
12:00～14:00

会 場：神戸三宮東急REIホテル

◎ 事務局だより

○ 花だより：皇帝ダリア

最近この花をよく見かけるようになりました。

4年程前、九州・阿蘇旅行でガイドさんから、ひと際高く咲く大輪の花を“皇帝ダリア”であると教えられ、それまで見たことが無く、その地域に咲く特別の花かと思い、わざわざ駐車場から写真を撮りに戻ったりしたものでした。

暫くそのことを忘れていたのですが、最近、近



所の庭で見かけ、ふとそのことを思い出すと、通勤途中の道路沿いにも結構咲いていることに気づきました。ずっと前から栽培されていたんでしょうか。どうも最近のような気がするのですが。背丈が3～5mもあり、特に花が少くなる11月から12月に20cm程にもなる花を咲かせるので、目立っていたと思うのですが。

大輪でピンク・うす紫の花冠は、皇帝の名に相応しいゴージャスさを備えていると思います。

メキシコ～中米原産、ダリア属、多年草。

○ 1年の締め括りにあたっての御礼

12月となり1年の締めくくりの時期となりました。この1年、会員皆様には、諸事業の運営ご協力、ご支援をいただきありがとうございました。

新春交流会、総会では、積極的なご参加により、100人規模での交流で、盛大に開催ができました。

月例会では、3月と9月に建築会セミナー併催として開催し、会員様のご協力や関係団体にもお声がけし、会場は満席状態で開催できました。

会報の発行では、月例会の概要報告に加え、会員様からの投稿や、PFIに関する特別寄稿もいただき、多彩な会報作りができました。

11月には2回の見学研修会を催しましたところ、ご多忙の中をご参加いただきました。

本当にありがとうございました。皆様のご協力に感謝を申し上げます。

ただ、3月の月例会では、私事で急遽休暇をいただくことになり、ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げますとともに、当会幹事（淡路土建）小寺様には司会等運営の代行をいただき感謝しています。

そして、7月には棚田副会長が突然病魔に倒れましたが、懸命のリハビリで、身の回りや歩行も自力でされるまで回復されているようです。1日も早い復帰をお待ち申し上げます。

いよいよ多忙な1か月となりますが、皆様にはご健勝にて新年を迎えられますことをご祈念申し上げます。

新年は、1月14日の新年恒例行事の会員新春交流会からスタートです。皆様お揃いでのご参加お待ちしております。

事務局：谷 純夫、石井滝実子

電話：078-996-2851

FAX：078-996-2852

Email：archit-k@axel.ocn.ne.jp

TOKYU REI HOTEL Party Plan

忘・新年会 Plan

2015 12.1 - 2016 2.29

一年の締めくくりと新年のはじまりにふさわしい
神戸三宮東急REIホテル自慢のプランをご用意しました。

スタンダード
プラン

お一人様
5,000 yen

ベーシック
プラン

お一人様
6,000 yen

セレクト
プラン

お一人様
7,000 yen

お得な特典!

50名様以上のご利用で——

- 乾杯用スパークリングワインサービス
- 150分フリードリンク
- ビンゴゲーム付きカラオケ 無料貸し出し(1日限定1台)

飲み放題 (2時間)
1,500 yen

- ビール ● ウイスキー
- ワイン(赤・白)
- 焼酎 ● 日本酒
- オレンジジュース
- ウーロン茶




※写真はイメージです

※ 表示価格にはサービス料と消費税が含まれております
※ 食材の入荷状況によりメニュー内容が変更することがございます



神戸三宮 東急REIホテル

〒651-0096 兵庫県神戸市中央区雲井通6丁目1番5号
Tel: 078-291-0109 Fax: 078-221-2917
<http://www.kobesannomiya.rei.tokyuhotels.co.jp/ja/>

(旧 神戸東急イン)

3階 宴会場

ご予約お問い合わせ **078-291-0701**

受付時間 9:00~18:00まで



*表示価格にはサービス料と消費税が含まれております
*食材の入荷状況によりメニュー内容が変更することがございます

〒651-0096 兵庫県神戸市中央区雲井通6丁目1番5号
Tel: 078-291-0109 Fax: 078-221-2917
<http://www.kobesannomiya.rei.tokyuhotels.co.jp/ja/>